

キャラクター名
馬場 荒

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	不良高校生	カヴァー	怪盗(願望)
	パロール			年齢		
オプション	覚醒	渴望	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %
出自	犯罪者の子		経験	大きな転機	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	1	1	3	1		6	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
モルガナカー(モーフィン)	白兵	6r+1	12	12		移動150m 行動値-2
フォールンブレイド	白兵	6r+1	3	9		クリ値-1 できる(下限5) その後壊れる
全力コンボ(侵食100↓)	白兵	6r+1	15	21		7dx+1@8/攻撃力33/コスト13 装甲無視
省エネコンボ(100↓)	白兵	6r+1	15	21		4dx+1@8/攻撃力30/コスト7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
勝負服	14	1			意志判定ダイス+1 怪盗服

所持品	
コネ: 情報屋	
ギャランティプラス	
トゥルースサイト(獲得)	
仮免許証	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
秘密兵器	P	N		
ナビ	P 支援者	N 肝心な時にいない		
伊集院 作磨	P 親近感Lv7	N 嫉妬		
フロディ	P	N		
エルザ	P 親近感	N		
通山	P 親近感	N		
U 2 M i	P 執着	N 偏愛		

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ(パロール)	2	2	Xジャー		自身	自動		
効果:								
ヴィークルモーフィン	3	2	マイナー			自動		
効果: モルガナカー生成								
エースドライバー	1	1	リアクション		自身	自動		
効果: 運転で回避が行える								
ヘビーギャロップ	3	2	Xジャー		自身	自動		
効果: ヴィークル中に白兵技能が使える								
斥力跳躍	1	1	マイナー		自身	自動		
効果: 戦闘移動(Lv×5)できる								
巨人の斧	3	3	Xジャー			対決		
効果: 攻撃力+(Lv×3) 判定ダイスを-2								
漆黒の拳	3	3	Xジャー			対決		
効果: 攻撃力+LV 装甲無視								
サポートデバイス	5	6	セット		自身	自動	80	
効果: 選択基本能力値のダイスLv×2 シナリオ三回								
パーフェクトコントロール	1	4	オート	至近	自身	自動	80	
効果: 判定達成値+10 HP5消費 シーン1								
瞬足の刃	2	3	Xジャー		自身	対決		
効果: ダイス[Lv+1]								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

幼少の頃は父親に憧れており、警官に憧れていた。しかしとある事件で誤射してしまい、検挙寸前の犯人を射殺してしまった。その後落ちぶれていき小学校に上がるころにはどこかに消えるようになってしまった。

しかし父親の正義感に対しての強い憧れは忘れず悶々と過ごしていた時、彼は出会う。世間を騒がす大怪盗「アルセーヌ・ルパン」の名前を語る義賊が悪を退治し弱者を救う——という一冊の本を見つける。警察では救えない悪、まだ見ぬ秘宝、暗い影に落ちていた心を、そのたった一冊の本が一人の少年を救ったのだ。

時は流れて高校に入学し数日の出来事——
帰路である暗い街道を歩いていた時に、壮年の男性に脅されている女性を見つけ助けに入ったまではよかったのだが、相手が酔っていたこともあり自滅するように電柱に頭をぶつけさせてしまい怪我を負わせてしまった。
実はその男性は名の知れた権力者であったが為、傷害罪で訴えられてしまう。女性のほうも丸め込まれてしまい馬場が一方的に悪かった証言をした。正義はあったのだろうか、と自身に問いかけた——結果的に女性は救うことができた、ならばそれで満足だ——

その後、親戚から親戚へとたらいまわされる日々が始まりうんざりしていた時に遠い親戚の人が面倒を見ているナビ(偽名)と出会い——
何やかんや上手いこと生活することができるようになった。

そんな何でもない日常が再開しようとしていた折、彼はまた新たな出会いを経験し、また事件へと巻き込まれて行く——